ETK0345124F

住友電気工業株式会社

ＣＦＪＢ２０－Ｕ１Ｂ
ＣＦＪＢ２１－Ｕ１Ｂ
工法書

ご使用の前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用下さい。
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

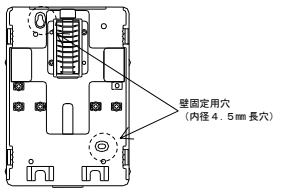
▽　安全上のご注意　～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

	本製品に関する安全上のご注意
⚠ **危険** 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。	―
⚠ **警告** 右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	・接続函は、落下などの無いように、確実に固定して下さい。 ・高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご留意ください。
⚠ **注意** 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。	・刃物などのご使用時には十分に注意してください。 ・本接続函の組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。 ・締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。接続函の機能低下及び破損の原因となります。
お願い 右記の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。	・光ファイバの配線は、許容曲げ半径３０mm以上をお守りください。 ・融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。

１．接続箱の固定

接続箱を壁面にネジでしっかりと固定する。
＊接続箱固定用のネジは添付されておりません。
　壁の強度や種類に合わせてネジを準備して下さい。

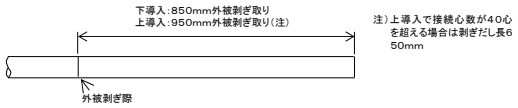


図はCFJB21を示す

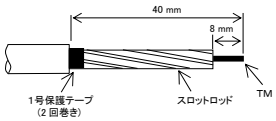
２．ケーブルの処理

2-1. 端末ケーブル及び分岐ケーブルの処理

・下図の寸法でケーブル外被を剥ぎ取り、上巻きを除去する。

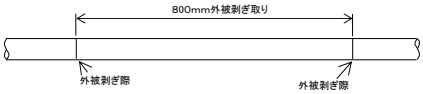


・心線を取り出しスロットロッドを切断する。外被剥ぎ取り際に１号保護テープ（別途購入品）を２回巻き付ける。下図の寸法でスロット及びテンションメンバ（以下ＴＭ）を口出しする。

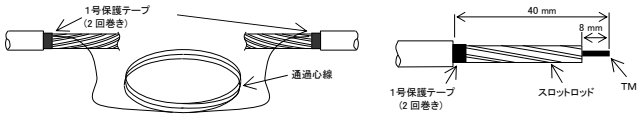


2-2. 通過ケーブルの処理

・下図の寸法でケーブル外被を剥ぎ取り、上巻きを除去する。

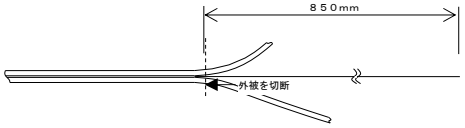


・心線を取り出しスロットロッドを切断する。外被剥ぎ取り際に１号保護テープ（別途購入品）を２回巻き付ける。下図の寸法でスロット及びＴＭを口出しする。



2-3. ドロップケーブルの処理

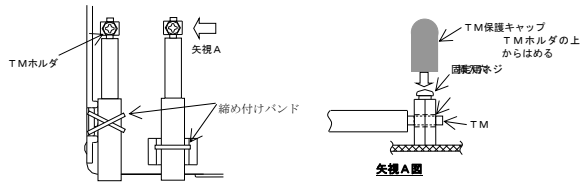
・下図の寸法でドロップケーブルを裂き外被を切断し、心線を取り出す。
＊外被の引き裂き及び切断時に心線を傷つけないように注意して下さい。



３．ケーブルの固定

3-1. 丸ケーブルの固定

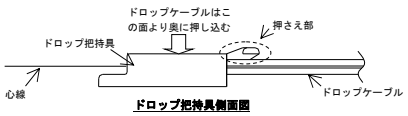
・ＴＭホルダの挿入穴にＴＭを挿入し、固定用ネジを締め付ける。添付のＴＭ保護キャップをＴＭホルダの上から取り付ける。
・外被を添付の締め付けバンドで締めつける。
＊多心ドロップケーブルをドロップ把持具以外の位置から導入する場合も同様の固定方法。



矢視Ａ図

3-2. ドロップケーブルの固定（**ＣＦＪＢ２０のみ**）

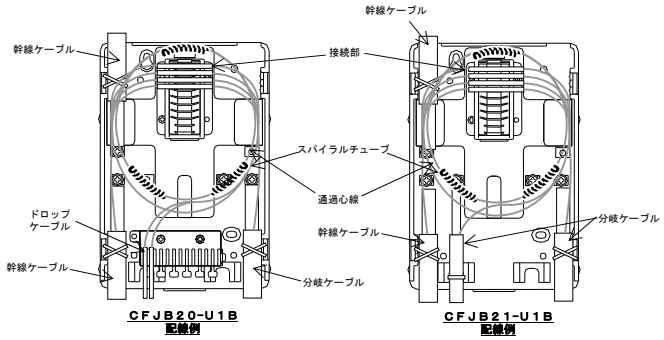
・把持具の溝にドロップケーブルを押し込み、ケーブルを固定する。ドロップケーブルは把持具の**押さえ部の下に挿入する。**
　＊ドロップ把持具は下の段から使用して下さい。



ドロップ把持具側面図

４．心線の接続

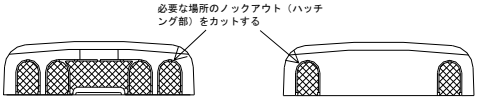
・心線を接続し下図の様に配線する。
・通過心線は２０mm程度に切断したスパイラルチューブで３ヶ所程度束ねて接続心線の上に収納する。
　＊接続心数は最大８０心（４心テープ時）。ただし、上導入のケーブルがある場合は最大４０心（４心テープ時）、下導入の分岐ケーブルがある場合は最大６０心（４心テープ時）。
　＊融着補強スリーブ及びメカニカルスプライス４（Ｗ）×４（Ｈ）×４０（Ｌ）以下を使用して下さい。
　＊余長は極力撚りが入らないようにターンを取り収納して下さい。
　＊余長を収納する際は、曲げ半径３０㎜ 以下にならないように注意して下さい。
　＊活線状態で通過心線の取り出し、収納を行ったり、分岐ケーブルの増設を行うと瞬断やロス増を起こす可能性があるので注意して下さい。



ＣＦＪＢ２０-Ｕ１Ｂ 配線例　　ＣＦＪＢ２１-Ｕ１Ｂ 配線例

５．カバーの取り付け

・ケーブルの導入本数に応じて、蓋のノックアウトをニッパー等でカットする。
＊ノックアウト部のバリは出来るだけ綺麗に取り除いて下さい。
＊カバーを被せる際に心線を本体との間に挟み込まないように注意して下さい。



下側ケーブル導入部　　上側ケーブル導入部

以上